

第二回みなと・西・大正かいわい

介護職・事業者の学習と交流のつどい



8月24日、田中機械ホールで二回目の「つどい」をもちました。

お忙しい中、20人以上の皆さんが参加して下さいました。此花区や大正区から初めて参加された方もおられました。

■初めに、この間、ヘルパーさんとケアマネさんへ行ってきたアンケート調査の報告を行いました。

◇調査内容 ①生活支援の訪問介護の回数制限を狙う、一定回数以上の生活支援を盛り込んだケアプランの市への届け出について、②地域包括支援センター・区役所などが行う「自立支援型地域ケア会議」について—

◇意見 多くの事業所が様々な制約を受けながら低い介護報酬で、それでも利用者さんの命と暮らしを守るためにと身を削って頑張っています。市や包括支援センターは、現場の実情、苦労をきちんと知って、それに応える施策やフォローをして欲しい、そうでないなら現場を尊重して余計な口出しはしないで欲しいという率直な意見が多数ありました。



◇参加者から 港合同の組合員からは「施設に勤める介護福祉士の娘は帰宅するとバタンキューで愚痴をきく時間さえない」という実情、父親の介護について、同居親族の頭越しに地域包括支援センターから自分に連絡があった、変と思った」との報告がありました。

■「地ビールのんで残暑に立ち向かおう！交流会」では自由に交流して頂きました。

大阪市の「集団指導」で配布したビラを見て参加してくれたケアマネさんは「自分の考えを職場では言えない雰囲気がある。ここで皆が同じことを感じ自由に話しているので嬉しかった」と、ケアマネをないがしろにし、締めつける政策に怒りの声をあげていました。

次回は **10月12日(金)**

◇場所 田中機械ホール

◇参加費：学習会300円 交流会2000円

■18時半～19時半

「暮らしと仕事に役立つ！社会保障と税金のイロハ」

講師：松田美由紀さん
(港生活と健康を守る会・事務局長)

■ごご7時半～8時半

ホンネで語ろう！交流会

介護に関係ない組合員の皆さまも是非ご参加を！